

お姉ちゃんかくれたきかけ

豊加美小六年 和田 美乃梨

私はよく家で料理をしていきます。

これはある日、私が料理の片づけをしてい

たときの出来事です。

私が油のひいたフライパンをまず水で洗お

うとしたときにお姉ちゃんが私に「フライ

パンの油は、まずふかないとダメだよ！」と

いいました。

私は、はっとしました。学校での家庭科の

授業でフライパンの油などはふかないと下水

道をよごしてしまいうからいけないと習って

たからです。そのことを私は、すっかり忘れ

てしまっていました。

けれど、お姉ちゃんに「忘れてた」という

のがはずかしく、「大丈夫だよ！だ、て、ほ

んのちよ」とだよ」と返しました。

そんな、私にお姉ちゃんは「美乃梨が下水

道をよごしているんじゃない」といいました。

私は、「そんなわけないじゃない」と急い

で返しました。でも、内心は「散りも積もれば山となる」ていうし、大丈夫かな」と少し心配になっていました。

その日の夜、私は「本当にそうかもしれない」と不安になっていました。

その出来事を後日、友達に相談してみたら、確かに下水道をよごしているかもぬ。でも、みんなき」と忘れちゃうから、仕方ないよ」といわれました。

いろいろと考えたら、なんだがかやけにな

---

てしま、「下水道をよごさないようにして、お姉ちゃんをギヤフンと言わせてやる！」と思いました。

私は、まず何で下水道をよごしているかを調べました。調べてみたら、洗剤や油などでよごしているそうです。

次に、私はどうすればいいか対策を調べてみました。洗剤はうすめてから捨て、油はふくなくしてから洗った方がいと分かりました。

対策を調べてみたら、家庭科の授業で、  
習ったな。と思いきや、出したりすることもあり、  
「ついこの間まで忘れていたのには：対策なん  
て出来るのかな」と少し不安になることも  
ありました。  
けれど、料理の片づけをしているときは、  
お姉ちゃんが見ると、近くにいてることが多く、お姉ちゃんを見  
ると無事に今日まで続いていっています。  
私にきかけをくれたお姉ちゃんは、自分  
が言ったことをすっかり忘れていて自慢も出  
来なかつたけれど、私は少しお姉ちゃんに感  
謝をしたいと思います。  
お姉ちゃんがあの一言を言ってくれなかつたら、  
もしかしたら私は今だに下水道をよご  
していたかもしれないからです。  
私は、これからも下水道をよごさないよう  
にがんばって、いつかはお姉ちゃんとなり  
を欲をいえは、お姉ちゃんの一歩先歩いてい  
けるように頑張っています。